

名古屋市港区で発見されたメリケンスナガイ

横井 敦史⁽¹⁾ 川瀬 基弘⁽²⁾⁽¹⁾ 名古屋市立大学大学院理学研究科 〒467-8501 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1⁽²⁾ 愛知みずほ大学人間科学部 〒467-0867 愛知県名古屋市瑞穂区春敲町2-13***Gastrocopta contracta* (Say, 1822) discovered in Minato-ku, Nagoya, Aichi Prefecture, Japan**Atsushi YOKOI⁽¹⁾ Motohiro KAWASE⁽²⁾⁽¹⁾ Graduate School of Science, Nagoya City University, 1 Yamanohata, Mizuho-cho, Mizuho-ku, Nagoya, Aichi 467-8501, Japan.⁽²⁾ Department of Human Science, Aichi Mizuho College, 2-13 Shunko-cho, Mizuho-ku, Nagoya, Aichi 467-0867, Japan

Correspondence:

Motohiro KAWASE E-mail: kawase@mizuho-c.ac.jp

要旨

2024年1月に名古屋市港区空見町でメリケンスナガイ *Gastrocopta contracta* (Say, 1822) が発見された。近接する港区金城ふ頭には本種が侵入していないことや、発見場所付近に大型倉庫があることなどから、侵入経路として、外国由来の荷物に混入した個体が分散したのではないかと推定された。

はじめに

2024年1月、名古屋市港区空見町（東陽倉庫 金城橋2号倉庫付近：図1）において、メリケンスナガイ *Gastrocopta contracta* (Say, 1822)（図2）を発見した。本種は2009年に愛知県海部郡飛鳥村（飛鳥埠頭）で初めて発見されたが（早瀬・木村, 2011）、その後は愛知県下でも全国でも発見事例がなく、最初の発見地点から比較的近い場所ではあるが、国内2例目の記録として報告する。

調査方法

2024年1月17日、愛知県名古屋市港区空見町〔東陽倉庫 金城橋2号倉庫付近（35.063486, 136.845597）〕の港湾の岸壁に近い雑木を含む草地（図3）において陸貝調査を実施した。

調査は目視による直接採取を中心に、必要に応じてスコップ、熊手、金属製篩等を用いてリター層と腐葉土層ごと陸貝を採取した。微小種分析のためのリターおよび腐葉土層のサンプリング地点は無作為に抽出した。その

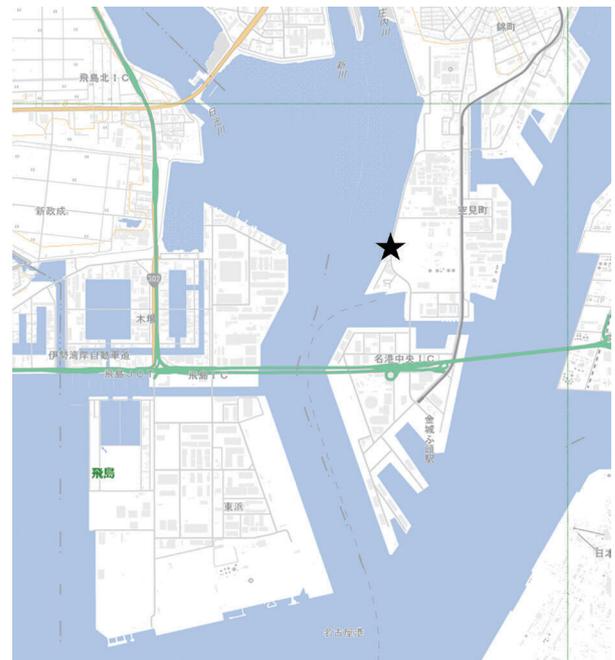


図1. 調査地点（星印）

本図は国土地理院ウェブサイト1/25,000地形図を使用した。



図2. メリケンスナガイ



図3. 調査環境



図4. ミジンマイマイ



図5. ホソオカチョウジガイ

場所の表土を1 cm目合の篩にかけ、通過したリターをサンプルとした。サンプルは室内でソーティングし双眼実体顕微鏡を用いて種の同定を行った。

結果と考察

目視確認およびリターと腐葉土のソーティングにより、メリケンスナガイ [北アメリカ原産] 25 個体、ミジンマイマイ *Vallonia costata* (O. F. Müller, 1774) [国内移入種] 18 個体、ホソオカチョウジガイ *Allopeas kyotoense* (Pilsbry & Hirase, 1904) [外来種の可能性が高い個体群] 3 個体、トクサオカチョウジガイ *Paropeas achatinaceum* (L. Pfeiffer, 1846) [東南アジア原産] 50 個体、ヒメコハクガイ *Hawaiiia minuscula* (Binney, 1841) [北アメリカ オハイオ州原産] 2 個体、オオクラヒメベッコウ *Yamatochlamys lampra* (Pilsbry & Hirase, 1904) 3 個体、

チャコウラナメクジ *Lehmannia valentiana* (Ferussac, 1822) [イベリア半島原産] 1 個体を発見した (図4~9)。一部死殻を含むものの、全種ともに発見個体数の大部分を生貝で確認した。採取したほとんどの種は、外来種として既に認知されているもの、または外来種の可能性が高いと考えられるものであった。

2009年にメリケンスナガイが、愛知県海部郡飛島村 (飛島埠頭) で初めて発見されたため (早瀬・木村, 2011)、名古屋市にも本種が侵入している可能性があると考え、港区の港湾地域を2012年頃から調査しているが、今回の発見に至るまで本種は発見されなかった。また、名古屋市の陸産貝類一斉調査においてもメリケンスナガイは発見されていない (川瀬, 2013; 2023)。今回の発見場所 (港区空見町 [東陽倉庫 金城橋2号倉庫付近]) における筆者らの調査は、今回が初めてであるた



図6. トクサオカチャウジガイ



図7. ヒメコハク



図8. オオクラヒメベッコウ



図9. チャコウラナメクジ

め、侵入時期については、最初に発見された2009年頃であるのか、それより後（比較的最近）であるのかは不明である。しかし、最初の発見場所と今回の発見場所は直線距離が近いものの、港湾の航路で隔てられているため、最初に侵入した個体群が分布を拡大した可能性は低い。また、近接する港区金城ふ頭には本種が侵入していないことや、発見場所付近に大型倉庫があることなどから、外国由来の荷物に混入した個体が分散したのではないかと考える。

なお、今回の発見場所に極めて近い港区空見町11番地では、2016年にアフリカマイマイ *Achatina fulica* (Ferussac, 1821) が発見された事例があり（川瀬, 2017）、港区の港湾地域は、外来種侵入の玄関口になっている可能性が高く、今後の定期的な調査が必要であると考えられる。

引用文献

- 早瀬善正・木村昭一. 2011. 名古屋港周辺の陸産貝類相、特に新たな外来移入種メリケンスナガイ（新称）について. ちりぼたん, 41(2): 48-59.
- 川瀬基弘. 2017. 名古屋市港区で発見されたアフリカマイマイ. なごやの生物多様性, 4: 107-108.
- 川瀬基弘. 2013. なごやで探そう！カタツムリ, なごや生きもの一斉調査2012 陸貝編 報告書. 名古屋生物多様性保全活動協議会, 名古屋. 29pp.
- 川瀬基弘. 2023. なごや生きもの一斉調査2022 陸貝編 調査結果報告書. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋. 49pp.